

ところざわ

会員互助会（仮称）の

骨子まとまる！

5月25日定期総会に提案



屋根より高いこのぼり 北中にて撮影（小手指地区 平野功さん）

定期総会のお知らせ

平成18年度（社）所沢市シルバー人材センター定期総会が次の日程で行われます。

記

日程 平成18年5月25日（木）

午後1時30分より

会場 エスポワール「晨麓苑」

定期総会出席の葉書は投函されましたか？

センターは会員皆様の総意によって運営する事が基本です。ぜひ、会員の皆様の出席をお願いします。

3月30日の理事会において、会員互助会（仮称）の設立が検討され、承認されました。

18年度定期総会において提案され、会員の皆様に詳しく説明がされます。以下に要点を紹介いたします。

※以下「（仮称）」は省略します。

この会員互助会は（社）所沢市シルバー人材センター「全会員」の入会が原則です。

会費は、ひとり年額300円。ただし18年度のみ免除されます。

■会員互助会の目的

会員互助会は、会員の相互理解と親睦を深め、福利厚生の上を図るとともに、豊かな生きがいを支援し、併せてセンター事業の伸展に寄与することを目的としています。

■会員互助会の事業内容

- 1 会員の教養・保健・趣味のための活動推進。
- 2 見学・慰労のための旅行会の開催。
- 3 慶弔・見舞金等の給付。
- 4 センターが必要とする行事等への参画。
- 5 その他諸活動の必要とする事項。

■会員互助会の要点

- 1 会員は、センターに所属する正会員および第一種賛助会員の全会員で構成します。
- 2 互助会の役員会を設け、役員が運営を遂行します。
- 3 会の経費は、会員からの会費、補助金、寄付金およびその他の収入をもって運営します。
- 4 記念品、傷病見舞金、弔慰金等を設けます。
- ・ 会に5年以上在籍し退会、又は善行等で表彰を受けた会員を対象に記念品の贈呈。

象に記念品の贈呈。

・ センター会員弔慰規程に定める弔慰金・見舞金等は、一部改正のうえ互助会が引継ぎます。

5 サークル等に対して補助金制を設けます。

・ サークル等の補助金を受けるには、役員会の承認が必要です。申請には事業年度前に、計画事業・収支予算書及び会員名簿の提出が求められます。

・ サークルの会員10名以上、20名以下には一律の基本補助金が支給され、20名を超える場合1名につき割増補助金が加算支給されます。

会員互助会設立に向けた動きは、昨年12月13日、事業部会からの諮問を受け多くの会員がセンター理念（自主・自立、共働・共助）に基づき適正な就業を進める上で、会員の福利厚生等について具体的推進を図るために、設立準備委員会が設置されました。設立準備委員会は会員互助会の設立に向けて、他のセンターの実施状況なども参考にしながら活発に討議されました。

将来の課題として2007年から、団塊世代の定年で当シルバー人

材センターへの入会増が見込まれ、一方で現会員も就業年齢制限に達したり、加齢を理由に就業を求めない傾向があり、未就業者の増大が考えられます。したがって、就業の需給バランスの検討が必要となります。また、今日までセンター発展のため貢献された先輩会員の方々にも仲間として行事などに参加できるように十分に配慮することが望ましいと考えられます。

この先、センター会員増加に伴い、事務局だけで運営するには負担がかかると思われます。それを補う方策として、会員主導で運営する組織として会員互助会を設立することで、事務局の負担を軽減することにもなります。

この会員互助会の役割は大きく、センター事業の活性化を図りながら、会員が参加する企画を積極的に展開することで、会員の資質を高め、会員活動の充実を図ることが大切だと考え、会則案の作成等を行い、18年3月20日答申が出されました。

このような大きな課題を真摯に受け止め、検討を重ねられた委員の方々（別記参照）に対し敬意を表します。定期総会では会員一人ひとりが

設立の意義を考え、慎重に討議し、総意をもって決定したいものです。その節は是非ご理解とご協力の程お願い致します。（岩崎記）

◆会員互助会設立準備委員会のメンバーは、委員長・岸啓二（副理事長）、副委員長・五社よし子、米村英明、前村潔、橋本英世、吉松直子、町田修、前田元、岩崎龍二、渡邊光信（会員番号順・敬称略）

親睦会からのお知らせ

所沢シルバー人材センター親睦会

会長 伊藤 政一

この度、センターに全会員を対象にした親睦組織の準備が進み、就業を通じて地域社会に貢献される会員の方々が、更にこの新親睦制度の中で会員相互の交流を深めセンターの発展に寄与されることを願う時、就業と親睦交流が一体となり誠に喜ばしく思います。

このことにより、有志会員制による現親睦会は平成18年5月25日を以て発展的解散の運びとなりました。

長期に亘りご協力を賜りましたこと感謝申し上げます。

就業の基準に関する要綱 Q & A

就業適正委員会 委員長 田中文雄

会員が公平な就業機会を得るための新しい就業ルールとして、「就業の基準に関する要綱（平成16年10月1日施行）があります。この目的と内容は、すでに会員の皆様にご理解とご協力を頂いておりますが、一層の周知徹底を図るために、要点の補足説明をいたします。

Q1 要綱第4条の就業期限について、教えて下さい。

A1 同一就業先での就業期限は原則1年ですが、更新を繰り返して、就業出来る期間は最長5年で終了となります。

Q2 適用対象になったら、どうなるのですか？

A2 同一就業先を変更することで以後の仕事がなくなるということではありません。就業期限が適用対象となった会員には、年齢や健康状態などを考慮して、新しい就業場所の確保に努めますが、毎週水曜日の午後「就業相談日」を実施しておりますので、センターにお越しください。

Q3 第7条の就業年齢制限について詳しく説明して下さい。

A3 シルバー人材センターの就業は、安全就業が基本です。会員の高齢化が進むにつれ、健康の確保と就業先の信頼を得るための努力が必要になってきます。職種によっては適正な年齢などをも考慮しなければならず、一定の年齢基準を設けたものです。特に76歳以上の就業年齢制限が対象の会員については、健康及び就業状況のアンケート調査を行っております。その後は健康状態などを考慮しながら単発の仕事や軽易な仕事などもある場合があります。そして様々な相談に対応してまいります。

今後もセンターの運営に
対し、ご理解下さ
いますようお願い
致します。

平成17年度 就業中 / 途上事故報告

会員安全就業推進委員会

昨年、当誌(90号)で安全週間の実施と会員一人ひとりの『安全意識』の習慣づけについて掲載しましたが、1年が経過した平成17年度会員事故発生状況は以下のとおりです。途上事故及び物損事故が増加しています。一つひとつの事故は重篤事故でないのも、逆に言えば各人の心掛けで事故は無くなります。18年度こそセンター一丸となり『事故ゼロ』を目指しましょう。

事故種類	傷害	物損	合計
平成17年	16件	5件	21件
平成16年	11件	3件	14件

各地区で懇談会

今年度も会員同士の情報交換と親睦を深める地区懇談会が各地区で、活発に行われている。

今回、2月5日(日) 新所沢地区(山口博委員)の地区懇談会を取材した。新所沢駅東口満州飯店で会員53名参加。事務局から秋山理事長、小ノ澤専務理事、山川次長らが出席、事業実績の説明や就労について等の話し合いが行われた。その中で会員から、今後パソコン操作等による作業が増えることが予測されるので、会員の方も機器操作に慣れておくためにも研修会などに積極的に参加されるのが良いとの意見もあった。



引き続き「安全就業」のビデオ放映。その後懇親会に移り、中華料理の円卓を囲みながら、カラオケ等も交え、楽しく歓談した。(石崎記)

〈17年度各地区懇談会〉

◇9月9日松井地区・老人福祉センターうしぬま荘◇9月29日吾妻地区・老人福祉センターあづま荘◇10月8日小手指地区・老人福祉センターこてさし荘◇10月23日柳瀬地区・柳瀬公民館◇11月13日富岡地区・富岡公民館◇11月26日三ヶ島地区・狭山ヶ丘コミュニティセンター◇1月26日中央地区・老人憩の家とめの里◇1月31日新所沢東地区・満州飯店◇2月6日新所沢地区・満州飯店◇2月15日山口地区・山口岩崎上町自治会館、所沢地区・老人憩の家ところ荘

おじやましーす

職場訪問記 (35)

今年の冬は全国的に厳しく、度重なる寒波襲来により極寒列島などと言われた。立春も過ぎた風の冷たい2月上旬、当センター会員の就業する(株)武蔵野種苗園の研究農場・三芳センターにおじゃました。

場所は所沢市と境界を接した三芳町分で、有名な柳沢吉保の事績になる「三富新田開拓」の上富である。

当時の新田を偲ばせる、間口に比し奥行き長い4ha(4町歩)もある短冊形式の農場である。十数棟のビニールハウスと事務所・休憩詰所が作業道を挟んで並び建っている。

「種子戦争」とか「種子を制するものは食糧を制する」等、植物の種苗企業が注目されて久しい。最近では目覚ましいバイオテクノロジの進歩や都心ビル内の野菜工場など、新聞記事の記憶も新しい。農場に入るにあたり消毒やその他、制約があるのではといささか緊張して訪れた。

約束の時間、センター長の立川裕信氏に暖かく迎えられ、詰所で気軽

にお話をさせていただいた。

こちらの研究農場には職員17名パート4名シルバー派遣4名(内2名は三芳町シルバー会員)計25名の陣容であると言う。

(株)武蔵野種苗園の本体は東京池袋に、そして各地に支店・農場を置き日本種苗協会1500余の企業の中でも有数の中堅を担う会社である。

いまやこの業界では新品種の激的な開発競争が内外で行われていると言われており、難しい話が出たら困るなど思いながら「こちらではどのような研究しているのですか」と質問する「いやあ、ブリーダーですよ。野菜等の品種改良育成ですよ」新品種として安定した商品になって市場へ出るまでには10年かかるそう。朝霞市の倉庫の方で種子の販売用梱包を行っているとのこと。



話を仕事に転じて作業内容は「難しいものではありません。その時々

員が農作業の指示をします。

大勢でやっていることなので作業はきつくはないと思いますよ」と話される。

立川さんの後について、幾つかのハウスをめぐる、戸口から覗いて歩く、各ハウスには整然とプランターや直植えの野菜類が並んでいる。

作業中のハウスに入ってみる。一瞬にして眼鏡が曇り見えなくなってしまう。ビニールパイプから吹き出す風の音が聞こえ、6・7人の働いている人が見えてきた、空調機による温湿度管理の仕業である。

鉢に植わった菜類の花冠にそれぞれビニールの袋が被せられている、交雑を防ぐ為だろう。地面には小さな雑草がいっぱい芽を出している。生育の最適管理の恩恵を受けたものであろう。みんなはこの草取りをしていたのである。この日のような寒い日、ハウス内作業は働く人にとっ

ては、有り難いのではないだろうか。就業時間中なので、会員の福田さん、松崎さんに声をかけ、2・3分の会話を交わし辞去することにした。

お二人とも元気な、また就業環境に満足されている表情のお顔とお見受けしました。

(粕合記)

渋川市シルバー人材センターと交流

去る1月30日午後、群馬県の(社)渋川市シルバー人材センター(以下SCという)から、俣田繁理事長はじめ理事や事務局職員等21名が当センターの会員安全就業の活動状況を視察に訪れ、情報交換を行った。



渋川市SC 俣田理事長は挨拶で「平成18年2月、1市1町4村の合併でシルバー人材センターが統合され、より広範囲な

事業展開が必要であることから組織・運営についての方策をご教授願いたい」と語られた。

引き続き、秋山理事長挨拶、小ノ澤専務理事が当センターの概要説明、岸委員長及び各委員が会員安全就業の説明等を行った。

協議内容は、安全委員会の活動や安全パトロールの方法。就業事故防

健康一口メモ

保健師 和田喜美子

いつまでも若々しく(2)



体がどの程度老化しているかは個人差があるので、骨密度、動脈硬化の程度、筋力など、判定してもらって知っておくのがよいでしょう。今回は食事で老化を遅らせる方法を考えてみましょう。

まず、肥満を防ぎましょう。肥満は生活習慣病や心臓病等にかかる危険性を高めることが分かっています。体重はBMI指数(計算式は下記)：22〜23が目安です。

食事では、前回記載したように抗酸化ビタミンを摂るよう心がけましょう。ビタミンは必要不可欠な栄養素で体の機能を調節する働きをしています。三大栄養素「炭水化物」「蛋白質」「脂肪」は多くの酵素の働きにより、体内で利用され易い形に変えられています。この酵素の働きをコントロールするのがビタミンです。ビタミンが不足すると栄養素がエネルギー源として、うまく利用されなくなるのです。

老化をすすめる活性酸素のことを前回書きましたが、ビタミンC、Eには活性酸素の酸化作用を阻止する働きもあり、老化を予防することが期待できます。ビタミンCにはこの外、ビタミンEの抗酸化作用を助ける働きもあり、皮膚の老化を防いだり、発癌を予防する効果が期待できます。ビタミンCはレモン、トマト、ピーマンに多く含まれます。ビタミンEはほうれん草、南瓜、サラダ油、ナッツ類に含まれます。その他の抗酸化物質としては緑黄色野菜の「βカロテン」「リコピン」「カテキン」などの「ポリフェノール」があります。これらを積極的に摂るよう心がけましょう。運動で老化を遅らせる方法は次回で述べたいと思います。

【BMI 指数の計算式】BMI = 体重(㎏) ÷ 身長(㎝) ÷ 身長(㎝) (例) 70 ㎏ ÷ 1.72 ㎝ ÷ 1.72 ㎝ = 23.7

パソコン研修に参加して

三ヶ島地区 小島美代子

パソコン研修会が2月中旬の4日間、センター会議室で行われました。内容はワードが中心で、初級、中級、上級者向けと分かれていました。講師は「ねっと042」の田村さん、山本さんです。私のOL時代の仕事は設定された画面に入力する簡単なものでした。一人で勉強しながら、解らなくなると、本を見ただけで頭が痛くなり、二の足を踏んでいました。今回案内を頂き、初級に参加させて頂きました。

講師紹介の後、教科書に沿って、授業が始まりました。

第1章から第3章までは**文字の入力の仕方**。文字の設定、文字の大きさ、色、位置の設定、中心にもってくる練習をしました。

第4章は**お知らせを作ろう**の実作。ふりがなをつけたり、文字の移動やコピーをしたりしました。休憩後は第5章**ワードアート**に入り、飾り文字や文字に色をつけることを習いました。私も文字をオレンジ色にしてみました。とても良かったです。2時間の練習でしたが、アツと云



最後に、黒板に書きながら、大きな声で解り易く教えて下さった講師の方々と、講習を企画して下さいましたシルバー人材センターにお礼申し上げます。

止の取り組み。職群班の活動について。その他多岐に亘ったが、質疑応答ではお互い忌憚のない意見交換が活発に行われた。質問のなかで、ほぼ同じ受注件数でありながら、契約高並びに就業延人員が約5倍には規模の違いに感心されていた。

今回のように、当センターも他のSCから評価され、来訪される方は研修目的ですが、それを受ける側も活動を見直す絶好の機会で先方から学ぶ事も多々あると感じられた。

(岩崎記)

う間に終わってしまいました。受講されていた他の方々も一生懸命でした。

シルバーに達人あり

第72回書壇院展で文部科学大臣賞（書道作品展で公募された作品の中でトップの賞）を受賞された伊藤義雄（雅号 碩路）さんをご紹介したい。

伊藤さんは、主にSCが独自で開催する書道教室の講師を9年、独自事業の運営事務として13年余就業された。書は平成12年より本格的に柳澤朱簾先生の下で習い始め、2回の準特選、昨年は特選と計6回の入選を経て最高位の受賞となった。

授賞式前に取材させて頂いた。内示の時は驚き「ひと晩、眠れなかったですよ」と話す。書道を学ぶ人は月刊競書誌の書壇や清泉でご存知で

武蔵野散歩

三月に入ったばかりの風の冷たい日、Fさんと二人で東新井町を流れる東川ぞいの道を歩いた。Fさんは古い橋の前で立ち止まり、その橋が「学校橋」であること、その川の袂にある梅の木は、明治時代民家を借りて始まった学校が幾度か変遷を繰り返して今の松井小学校になったが、学校が他の場所に移ることにあった折、あまりにも美しいしだれ



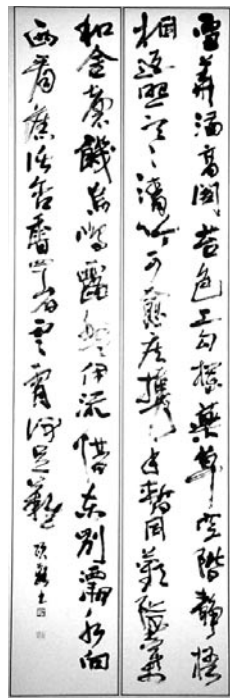
学校橋という名がついているのだから、この橋を渡った先に校舎があったのだらう。当時の子供の姿と

を見る。

梅なので、朽ちかけた木の枝に接木してこの場所に植え替えられ「精華の梅」写真」と名づけられたという。ひとつそりと佇むその木に歴史の面影

る」と早口に話す伊藤さんは84歳。とてもお元気だ。

現在、書体は行草書、自分で選んだ漢詩などを自分のスタイルで書く〈漢字自運部門〉を得意とされている。「中国の漢詩をモチーフにする



【受賞作品】

ての受賞となった。創作には2カ月位を要し、年に7つの書道展や美術展に出展。1作品に60〜80

文字を書くため、半紙は月約千枚、画仙紙は数百枚を反古にする。1日に午前・午後各3時間と夜1時間、計7時間を費やす。好きこそものの上手なれというが、この集中力には感服してしまう。「出品料・用具料

自分の子供時代の姿と重なり、懐かしい風景が蘇る。最初に造られた民家風の校舎の2教室は原形を留めたまま、今も「安松会館」としていき

ている。優美に風に揺れている枝に、寒気に耐えて、けな気に咲き始めた梅の花は小学生のように愛らしい。桜の季節には人々がこの桜並木を楽しむ。夜などまだライトアップされていない所を車で走ると、車のライトに映し出された夜桜は誠に美しいとFさんは言う。

しばらく歩いて橋を渡り松井小学

とお金のかかる趣味ですが、シルバーで働いて稼いだお金がこの趣味を支えています。」とも話された。

見せて頂いた書籍に蘊奥（うんおう）という言葉があった。調べると『学問・技芸などの奥深いところ。奥義や極意の意。その先のものを身につけたければ、自分の才能を精一杯駆使し、努力を惜しまず、求めなくてはならない。本人が、自分で究めない限り、物事の本質はつかめない』とある。

伊藤さんの眼は今輝きに満ち、まっしぐらに蘊奥を究めんとしている。感銘を受け、おのずと頭が下がる思いだ。伊藤さん、おめでとうございませう！（斎藤記）

校へ向かう。最近リニューアルされた松井小学校は現代の景観そのもの。多分、中もきれいに整備され設備も充実しているのだろう。今の子供は幸せである。

遠い昔、所沢周辺を元弘の乱と云き新田義貞が通った道や、義経が奥羽に向かう途中通った道があるとかいう。

「事実は小説よりも奇なり」と言うが、歴史は旧い時代の事実でもある。所沢の今昔を話しながら歩いた午後であった。（中村記）

アースペース

時の流れに想う

三ヶ島地区 千葉タマコ

私の結婚は昭和35年10月22日。ちょうど今年45周年を迎え、私のこれまでの人生の半分以上が夫と生きてきた事になります。

当時、恋愛結婚も珍しくない時代にはなっていました。その頃私は、秋田から家出同様に上京し、練馬の知人宅に住み込みで働いていました。一度と秋田に戻る気持ちもなく、自分の将来は真面目な人と一緒になつてなどと漠然と考えていた時でもあり、田舎者の私には、都会の男性は恐いという思いがありました。そんな時、知人から見合いを勧められました。相手は6人兄弟の長男で両親・弟妹と同居が条件でした。

その頃は一カ月一度しかない定休日、仕事先のお宅でお見合いをしました。二人のデートは一カ月後、なんと顔もうろ覚え、わからなくてはと見合いの写真をバッグに忍ばせていました。西武新宿線の上井草駅前であうたえた思い出もあり、現代

では信じられない、主人との笑い話の一つです。

幼い時に母を亡くし、淋しい子供時代を過ごした私は、両親がいて、弟妹と同居のにぎやかな家庭に、あこがれがありました。世事にうとく、何もわからないまままでの結婚でした。夢を抱き心弾ませた結婚ってこんなものか？とがっかり落ちこんだ事も多く、私の人生は悲しく辛い事だけで終わってしまうのかと思った時もありました。

現代っ子が云う結婚条件の「家つき、カーつき、婆ぬき」の言葉とは程遠く、私は「家なし、カーなし、爺婆に、小姑つき」の結婚だねと泣き言を云ったものです。

結婚当時、お金はもちろん何もなくて、結婚準備なし。身体が丈夫でしか取りえなく、親がくれた財産と云えば健康のみでした。身一つで大家族の中に嫁いで45年、まわりの方に「偉かったね」と云われたものです。考えてみると私が偉かったんじゃない、何もわからず何も出来ない私を嫁にして辛抱し人生を共にしてくれた夫が偉かったと考えています。若い頃、苦しく悲しい時に主人によく云ったものでした「生まれ変わ

わって、もう一度結婚する時、長男とは、絶対結婚しない。次男か三男だったら結婚するかもよ」と。しかし45年たった今、その言葉は訂正し、生まれ変わって又結婚する時は、主人が長男だろうと一人っ子であろうとも結婚しよう……但し相手がそう云ってくれたら話ですけどね。

45年間ふりかえると両親のため、弟妹のため、子供等のため、他人のためにとがんばって来た人生だと思う。娘二人を嫁がせ、夫婦二人だけになった今、認知症予防のためにも身体が続くかぎり働き、二人で好きな旅行やドライブ、ボーリング、スポーツをして、これからは私自身の人生を送りたい。45年はあつという間でした。これからの人生50年60年と共に迎えられる様に二人の生活を大切にしたい。今お父さんに「本当にありがとう。これからよろしくね」の言葉を付け加えたいと思います。

そしてシルバー会員の皆さん、会員歴浅い私ですが元氣にがんばります。これからも仲間の一人としてよろしくお願いします。



薄学駄話

大木惇夫の詩

はぐくぐだわー
別れや出会いの多い春、この季節にきまつて思い出す古い歌がある。広島出身の詩人大木惇夫氏による「戦友別盃の歌」である。末尾に一部紹介しよう。

この歌は戦争中、歌詞、曲共に軍歌調に手直しされ、前線の兵隊を鼓舞する役目を担った。戦中、大東亜文学賞なども受賞した。そのため、戦争協力詩人との非難を受けた氏は戦後、一時筆を折らざるを得ない羽目になり、歌も長いこと封印されていた。しかし、1999年復刻された「大木惇夫詩全集」(全3巻)では「海原にありて歌える」という題で復権。その格調の高さと美しい日本語で人々を惹きつけた。

思うにあの時代、詩人として、この程度の戦争協力はやむを得なかったことだろう。むしろ「死が必定の戦場」で「又会おう」と誓った若者たちの心情が切なく迫る名詩のように思える。長い時を経た今では、心ならずも南海に散った若き戦士たち

言うなかれ君よ別れを
世の常をまた生き死にを
海ばらのはるけき果てに
今やはた何をか言わん

への鎮魂
歌のよう
にさえ聞
こえる。

(島記)

この夕べ相離(さかる)とも
かがやかし南十字を
いつの夜かまた共に見ん

【ご報告】

義援金について

会員の方々にもご協力とご厚意を賜り、全国シルバー人材センター事業協会を通じて義援金を送りました。厚くお礼申し上げます。

新潟県中越地震災害義援金

(社)三宅村シルバー人材センター復興義援金

スマトラ沖地震・津波緊急復興プロジェクト

10,879円

21,680円

947円

《シルバー豆宣伝》

福祉・家事援助サービスではこんな仕事をしています

シルバー人材センターの福祉・家事援助サービスは概ね60歳以上の元気で人生経験豊かな会員が、家事・老人介護・産後・育児等でお困りの方々の、暮らしのお手伝いをする事によって、就業の機会が得られ、地域社会の役に立ちたいという相互扶助の事業です。

社団法人
所沢市シルバー人材センター
Tel 04-2928-8695
Fax 04-2924-0630
【受付時間】
月～金曜日 午前8:30～午後5:00
〒359-1143 所沢市宮本町1-1-2 旧市役所2F

URL <http://www.sjc.ne.jp/tokorozawa> E-mail tokorozawa@sjc.ne.jp

福祉・家事援助サービス事業を、より多くの方にご理解頂ける様、パンフレットを作成・配布し事業の宣伝に努めています。

お知らせ



任されました。

ご挨拶

森田 勝治

会員の皆様には、ますますのご活躍と心よりお喜びを申し上げます。

さてこの度私こと、小ノ澤徹二前専務理事兼事務局長の後任として、事務局長に就任いたしました。

今、社会は大きく変化しつつあります。特に急速な高齢化現象が進む中、今まであらゆる分野で長い間活躍され、第一線から勇退された方をはじめ多くの方々が、自らの生きがいのため当シルバー人材センターにも様々な要望を求められております。皆様方のご期待に応えられますよう微力ではありますが、誠心誠意努めさせていただきます。

何卒、前任者同様のご指導、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

【健康相談日】

- ・ 4月20日(木) 午後
- ・ 5月18日(木) 午後
- ・ 6月15日(木) 午後

あとがき



● 母校のセミナーで、東大上野千鶴子教授と国際基督教大八代尚宏教授の丁々発止の討論を聞いた。「熟年離婚は結構だが、定年の翌日というのは如何なものか。もっと早めに言ってもらえば、こちらも新しいのを探すゆとりがあるのに」と八代氏。すかさず上野女史「女性は着々と機会をねらっている。気付かないのは男性の怠慢。年金持ち寄り再婚、大いに結構」と女権拡張論の旗手だけあって鋭い舌鋒。

● 以上脱線した部分のみ書いたが、このシンポジウムは「少子化高齢化と家族のゆくえ」が本題。結論めいたものとしては高齢者は若い者をアテにせず、自立の期間を長くせよということだった。なーんだ、我がシルバーの趣旨と同じじゃない？

● らんまんの春、よい出会いを——。人だけではなく、花や樹々、そして、リニューアルした自分との出会いでもいい。(島)

